

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2020. vol. **27**
Take Free

ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

キーワードは

IT
アイティ

- 09 地域おこし協力隊の
「気になる八幡平」
- 10 八幡平に生きる人
- 12 八幡平あっちこっち
- 14 ハチクラ通信
- 16 ピッキーと行く八幡平



八幡平市

Hachimantai City

IT キーワードは

リモートワークやワーケーションという言葉が注目され、暮らしの中でITの存在が大きくなってきている。

意外と知られていないことだが、

八幡平市は、早くから

市民生活を支える基本的ライフラインとして、
情報通信環境の整備を重要度の高いものとしてとらえ、
推進してきたという。

そのひとつとして、地域住民の活動の拠点となる
市役所や各地区のコミュニティセンターなどの
公共施設にFree Wi-Fiを導入し、

ITを活用して情報が得られるようにしている。
さらにいま、八幡平でITを活用した新しい動きも現れている。

category 1

起業志民プロジェクト

ITの力を 活用して起業

スパルタキャンプ in 八幡平

「NEXT REVOLUTION」の代表・高橋一真さん。スパルタキャンプの運営やWEBアプリケーションの開発・運用などを手がける。

事業の核となるのが「スパルタキャンプ」だ。毎週土・日曜、4週間（計8日間）で、独力でアプリケーション開発が行えるレベルまでのプログラミングを習得するというもの。しかも受講費、期間滞在中の宿泊費は無償。当初は定員割れだったが、今では15名の定員に対し、20倍を超える応募があるという。

八幡平市は、さらにスパルタキャンプの受講生が引き続き市内で活動するための拠点となる起業家支援センターを設立し、事業計画策定から資金調達も支援している。

八幡平市大更出身・在住の高橋一真さんは、第1回スパルタ

**強い思いが
八幡平の未来をつくる**

「世界中から志のある者たちが集まってくる」と注目されている八幡平市の取り組みがある。2015年度から始まった、ITを活用した地方創生事業「起業志民プロジェクト」である。

1 昨年の「スパルタキャンプ in 八幡平」にて、強い想いを持って学ぶ受講者。
2 スパルタキャンプは、短期間でプログラミングのスキルを身につけていくスクールである。
3 スパルタキャンプをきっかけに、八幡平市に移住し、起業を志す人もいる。



1



3



2

キーワードは

株式会社NEXT REVOLUTION

代表取締役

高橋一真さん

● 八幡平市大更25-113 八幡平市起業家支援センター
● <https://next-revolution.net>

キャンプの参加者のひとり。IT企業に勤務していたが、新しいプログラミング技術を習得したいと考え参加した。修了後、WEBアプリケーションの開発・運用などを行う会社「ネクストレボリューション」を設立。現在はスパルタキャンプの講師も務め、運営にも携わっている。高橋さんのようにスパルタキャンプ受講後、市内で企業した人は8社8経営者いるという。

高橋さんの会社にはスパルタキャンプを受講した社員もいる。勤務形態はリモートワークが基本。「だからこそ、人と人のつながりを大事にしていきたい」と強く思うようになったと話す。

高橋さんは、リモートワークが可能なIT系には、子育て中の女性や障がい者にも就労の機会があるという。今後は、その人たちのサポートもしていきたいとも。今後も、八幡平市の起業志民プロジェクトは、高橋さんのような志を持った人を育てていくのだろう。

キーワードは

category 2

ワーケーション

仕事＋バカンス
八幡平で
リモートワーク



- 1** ロッジタンデムの脇を流れる清流で気分転換。**2** 心地よい雰囲気メインのロッジ。ここにはプロジェクターやスクリーンも揃っているので、会議も可能。
3 コテージにもインターネット環境を完備。川沿いには屋根付きの野外バーベキューのスペースもある。



ロッジタンデム

コテージに滞在して ワーケーション

安比高原から車で約4キロ。キッチン付きコテージで時間に縛られない自由な過ごし方ができるのが魅力。川の音をBGMに仕事をしたり、近くの林を散歩したり、旅気分も満喫できる。

- 八幡平市細野333-7
- TEL 0195-72-5219
- 宿泊料金／1泊素泊まり4,700円(税別)
- <https://tandem.localinfo.jp>

仕事の合間に アクティビティ

最近、話題に上がる「ワーケーション」。仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせたもので、観光地やリゾート地でリモートワークをしながら休暇も取るという働き方である。長くゆとりのある旅が可能となり、環境を変えることで仕事の効率が上がると注目されている。

観光地でありリゾート地でもある八幡平市は、都会の喧騒を離れて過ごす場所として、ワーケーションに最適な場所だろう。夏は涼しく、登山やトレッキングが楽しめる。冬は寒いけれどもスキーやスノーボードなどのアクティビティが充実している。

安比高原の「ロッジタンデム」は、静かな林の中にコテージが並んでおり三密を回避しつつ、日常から離れたロングステイが可能。コテージにもメインロτζにもWiFi環境が用意され、気分によって仕事をする場

所を変えられるのがうれしい。パソコン作業に疲れたら、気分転換に林を散策すれば、その後の仕事の効率も上がるだろう。

休日は、朝早めに安比高原へ出かけてみよう。中のまきばやブナ二次林を散策し、昼は安比高原ゴンドラ駅にある「雲に浮かぶUNKAI CAFE」で食事やカフェを楽しむ。大パノラマを楽しみながらの食事は、リゾート地ならではのものだ。

紅葉が始まるこれからの季節は、八幡平アスピーテラインのドライブと八幡平頂上付近のトレッキングもお勧め。歩いて汗をかけたあとは、八幡平温泉郷や松川温泉などで立ち寄り湯を。そのほかにも个性的な日帰り湯が点在するので、湯巡りの楽しみもある。夜は満天の星空に心が洗われるだろう。

心身ともにリフレッシュし、仕事のパフォーマンスもアップするワーケーションステイ。秋のトップシーズンを迎える今こそ、八幡平で体験してほしい。

雲に浮かぶ UNKAI CAFE

山頂の空気を吸ってリフレッシュ

ゴンドラに乗って天空ガーデンへ。スカイデッキからの絶景を撮影してSNSにアップしたり、カフェでバーガーを食べながらスマートフォンで情報をチェックしたりしながらひと休み。

- 八幡平市安比高原
- 営業時間 / 11:00～20:30 (20:00LO)
- 定休日 / 7月23日～10月25日のゴンドラ営業日と同様
※ゴンドラ営業日はHPを確認ください
- <https://www.appi.co.jp>



4 安比ゴンドラ山頂駅から遊歩道を歩いて山頂へ。スマートフォンで岩手山を撮影し、SNSにアップ！ **5** 安比マッシュルームチーズバーガーとやみつきポテト、ドリンクがセットになった「APPIバーガーセット(1,800円・税込)」。バーガーは粗挽き肉で肉汁たっぷりだ。





1 高収益化を図るため、生産性の高い縦型水耕栽培装置を導入。今後はさらにハウスを増設し、雇用拡大につなげていく。
 2 スマートフォンでハウス内の温度・湿度などの環境の管理、熱水や養液の供給などの制御等もできる。3 収穫は基本的に手作業で。
 効率よく品質管理に力を入れることができる。4 「温泉バジル」は松っちゃん市場で販売中（1袋260円・税込）。高機能フィルムのパッケージは野菜の新鮮さを長く保つ効果がある。



ハウスを制御・管理するIoTシステムと
 兒玉則浩さん。

キーワードは

category 3 IoT農業 自然エネルギーと 最新技術の融合

株式会社八幡平スマートファーム

代表取締役社長 兒玉則浩さん

● 八幡平市大更35-62 ● <http://smartfarm.co.jp>

温泉バジルで 地域活性化を目指す

30年以上前から八幡平市では松川地熱発電所から供給される熱水を利用した農業が行われている。この地熱と最新の栽培技術、IoTシステムを活用して栽培されているのが「温泉バジル」である。

「地熱を使ったIoT農業は八幡平だからこそできるのです」と兒玉則浩社長はいう。「地熱の力で厳冬期でも生育に適した環境を保つことができ、安定した周年栽培が可能となります。さらにハウスの温度や湿度、養液や熱水の供給などの管理をIoTシステムで行うことでより効率的な農業が実現できます」

温泉バジルは、2020年6月から本格的に全国に出荷されており、香り強く、葉が厚いことから、多くのシェフから注目を集めている。兒玉社長は「バジル産業で地域活性化をしたい」と意欲を見せている。

地域おこし
協力隊の
気になる
八幡平

八幡平市の各エリアで活動している地域おこし協力隊。彼らが感じたまちの魅力、皆さんに勧めたいものなどを紹介。



近所の名水「長者屋敷清水」。の根元から湧き出しており、巨岩からも水を汲みに来る人も多い。遠く



「最幸だね」とよくいわれる家からの眺め。



帰宅中に思わず息をのんだ夕陽。

第6回 松尾 編

理想の子育て環境は 意外と近くにあった

文・写真／吉田裕香

2020年4月に松尾地区に親子で移住してきました。移住前は雄大な自然しかないイメージだったのですが、名泉や観光地はもちろん、遺跡や学校や駅、病院、飲食店やスーパー、ホームセンターなどが揃っていて豊かなこと！ 職場も近く、のびのびと子育てをしたかった私には理想的な場所でした。日々、子どもたちと探検しながら魅力を発掘し、仕事に活かしています。

休日は地域の人が各自の畑で育てた、採れたて野菜を持ち寄り交流BBQ。美しく色づく日暮れを眺めながら、ゆったりと贅沢な時間が流れてゆきます。最近では近所の子どもたちも集まって、やかまし……いえいえ、とってもにぎやかです。

吉田裕香（よしだ ゆうか）

盛岡市出身。長女の進学をきっかけに豊かな教育環境を求めて移住。
移住・定住支援、写真や動画で市の魅力発信を担当。

八幡平に生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、
いろんなことを考えている。

共通するのは、

「じつって、いいまちだよね」。

暮らしてこそわかる、

八幡平の魅力とは――。

早朝と夕方の

付加価値を高める



1 天体望遠鏡とスマートフォンを使って、上弦の月を撮影「ほら、これが月面Xです」と鳥海さん。月面Xは太陽の光の角度の関係で年に数回しか見ることができない。2 八幡平のガイドに「八幡平、私のお気に入りのベスト1」のアンケートを実施。ガイドの視点から見たディープな八幡平を商品化する計画を立てている。3 市販のキットを購入し組み立てた天体望遠鏡「土星の輪も見えるんです」と鳥海さん。参加者が自分で手作りした天体望遠鏡で星空観測する自然体験プログラムも考えている。



とりのうみよしのぶ

1955年(昭和30)山形県鶴岡市出身。八幡平リゾート株式会社取締役総支配人を退任後、2019年8月に八幡平DMOに参画。コーディネーターとして、八幡平の魅力発信に注力している。

■株式会社八幡平DMO

八幡平市大更25-68-2 開福ビル2階D号
<https://hachimantai-dmo.trip8.jp>

「八幡平に泊まらなくてはならない理由はない理由はない」

八幡平DMOでコーディネーターを務める鳥海良信さんは、盛岡でも弘前でも秋田でもない、八幡平に宿泊しなければならない理由が観光誘致のポイントのひとつになると考えている。宿泊しなければ体験できない魅力とは、早朝と夕方の自然風景にあると話す。

「例えば、早朝、朝食前に安比高原ブナ二次林や中のまきばへ行くと木々の間から斜めに朝日が差し込み、森が立体的に見える、美しい光景になるのです。また斜光に輝く岩手山もすばらしい」という。夕方亦然り。夕方はさらに薄暮というドラマチックな風景も見せてくれる。

「八幡平は朝と夕に輝く」と鳥海さん。そのふたつをつなぐ夜も観光商品として魅力があるという。鳥海さんによると、八幡平は人工的な光が少ないため、星空観察の好適地とか。



鳥海良信さん愛用の星座観察用双眼鏡。
星座を構成する星々の並びなどを肉眼
で見るより高い臨場感で楽しめる。

株式会社八幡平DMO コーディネーター 鳥海良信さん

「夏は上坊牧野。岩手山から
天の川が立ち上り、天の川を挟
んで輝く3つの一等星は最大の
見どころ。冬はオリオン座と冬
の大三角形、3月には未明に夏
の星座が昇るので、早起きすれ
ばその両方を楽しめるのです」

鳥海さんは、昨年まで八幡平
リゾートの総支配人を務めてい
た。このとき星空が八幡平の商
品になると気付き、八幡平マウ
ンテンホテルで体験プログラム
を展開し、手応えを得たという。

「朝と夕に輝く八幡平にはリ
ゾートとしての底力が感じられ
ます。その魅力を他地域から来
た観光客にしっかりと伝えられ
るガイドの力も重要になってく
るでしょう」

そして、コーディネーターとし
ての力も。八幡平らしい魅力ある
体験プログラムを作り、観光客を
呼び込まなければならぬ。その
ために鳥海さんは、自然や地域の
人の絆を生かした魅力を発信し
続けるだろう。

① 古民家食堂 なつかしの家



「日替わり定食(700円・ハーフ500円、税込)」は、ごはんのおかわりが自由。

常居のある築100年以上の古民家を食堂として使用。人気の「日替わり定食」は、自社で栽培した減農薬あきたこまちや季節の野菜を使ったもの。また「八幡平牛スジ肉牛井定食」も好評。手づくりの優しい味を堪能したい。

- 八幡平市田頭22-108-3 ■ TEL 0195-68-7230
- 営業時間／11:45～14:00(テイクアウトは17:00まで)
- 定休日／日曜



あっち
こっち
こっち

八幡平

おいしい店を探して



ランチ、カフェ、居酒屋など、
八幡平旅の途中で
寄りたい店を紹介。



③ ペンション&カフェ アーベント倶楽部



上質のコーヒー豆を職人技で焙煎。

生産国における栽培管理や品質管理などが適正になされているスペシャルティコーヒーを自家焙煎し提供。焙煎歴45年のオーナーが淹れる「プレミアム珈琲(400円・税込)」を味わい、LPレコードのBGMを聴きながら、寛ぎの時間が過ごせる。

- 八幡平市安比高原605-33 ■ TEL 0195-73-5166
- カフェ営業時間／金～日曜10:00～16:00
- カフェ定休日／月～木曜 ※平日やランチの対応については要問い合わせ
- 宿泊料金／1泊2食付き7,500円～(税別)

② 松っちゃん市場 食堂



「ナポリタン(800円)」は平日提供、「ジェノベーゼ(800円)」は土・日曜のみ提供。全て税込。

八幡平の温泉バジルを使った新メニュー「ナポリタン」と「ジェノベーゼ」が登場。バジルソースとトマトソースそれぞれのおいしさを引き出すため、麵の太さを変えているというこだわりもだが、摘みだての生のバジルのおいしさを楽しめるのがうれしい。

- 八幡平市松尾寄木2-512 ■ TEL 0195-78-3002
- 営業時間／11:30～17:00(冬期は16:30まで)
- 定休日／12月31日～1月2日

⑤ 養老乃瀧 西根町店



秘伝のタレで焼く「串焼盛り合せ(748円・税込)」

ひとりでもグループでも利用しやすい居酒屋。席について注文したいのが「サッポロ生ビール黒ラベル(樽生)」と「串焼盛り合せ」だ。各種飲み放題コースがあるほか、毎週水曜はドリンク半額セールを実施中。

- 八幡平市大更23-99-2 ■ TEL 0195-76-4615
- 営業時間／17:00～23:00(ラストオーダーはフードが22:00、ドリンクが22:30)
- 定休日／月曜・第3日曜

④ 麴屋もとみや・味噌茶屋

麴屋もとみやの味噌と地元食材のコラボが楽しめる「麴屋のみそラスク」。味は南蛮みそ、甘みそ、にんにくみその3種類あり、南蛮みそには安代地区の青唐辛子、甘みそには山本養蜂場のそばの蜂蜜が使われている。大きさもひと口サイズで食べやすい。



3種類の味が楽しめる「麴屋のみそラスク」。各270円(税込)。

- 八幡平市寺志田165-28
- TEL 0195-72-3663
- 営業時間／9:30～17:00
- 定休日／木曜、12月31日・1月1日



読者の声

ハチクラ26号に寄せられた
読者からのコメントを紹介。

● 表紙の「まだ見ぬ平館へ」のとおり住んでいても知らない景色、歴史があります。興味をそえられるような写真や構成がステキだなと思いました。
(八幡平市 T・K)

● 「平館あっちこっち」を興味深く読みました。盛岡へ行く途中、必ず通る道です。肉のささは、ときどき立ち寄って買い物をしています。いろいろな店があるんですね。
(二戸市 T・S)

● 私の社会人としてのスタートが平館だったので懐かしく、そして知らなかったことや新名所もあって楽しめました。
(矢巾町 N・M)

● フルカラーで持ち運びやすいサイズ感で、表紙も毎号ステキです。読者の声で岩手県だけでなく県外からの読者も多く、愛されている町なの分かりますね。
(滝沢市 H・I)

■ 入会費・年会費は無料

■ 特典

- ① ハチクラの最新号やバックナンバーをお手元にお届けします。
- ② ハチクラツアーなどのイベントをご案内します。
- ③ ハチクラグッズの企画がある場合に先予約などを受け付けます。

■ 入会方法

希望の方は、メールでのみ受け付けます。
件名に「ハチクラメンバー希望」、メール本文に住所、氏名、年齢を記入し、送信してください。
確認後、2～3日中にメールを返信します。

送信先 hachikurafan8@gmail.com

会員募集中!

● 定期的に無料発行をされている「ハチクラ」。八幡平市の魅力を再発見できるので、とても楽しみにしています。
(八幡平市 T・M)

「ハチクラFANCLUB」は公式ファンクラブとして、ハチクラの活動を応援することを目的にした、ハチクラファンのためにメンバーを募集します。ハチクラの活動を応援しようという方ならどなたでも加入できます。

Just listen!

back number

バックナンバーのご案内

「ハチクラ」バックナンバーのお求めは……

下記までご連絡ください。

送料のご負担をお願いいたします。

連絡先

八幡平市商工会

TEL 0195-76-2040

(受付時間/平日9:00～17:00)



hachikura stay

「ハチクラ Stay」公開中!

八幡平をもっと楽しむための体験型プラン「ハチクラstay」が始まりました。ハチクラが紹介する魅力ある自然や風景、暮らしや人に触れながらステキな旅をしてみませんか。

問い合わせ先
トラベル・リンク株式会社

<http://travel-link.jp/archives/17682>





ハチクラ vol.27 読者アンケート

問 1

「ハチクラ」をどこで入手しましたか？

問 2

本誌を入手した動機は何ですか？（複数回答可）

- 1 表紙に惹かれたから
- 2 内容がおもしろそうだから
- 3 八幡平市の観光に興味があったから
- 4 地元の情報を知りたかったから
- 5 無料だったから

問 3

今号の記事でおもしろかったものを挙げてください
（複数回答可）

- 1 特集「キーワードはIT」
- 2 地域おこし協力隊の「気になる八幡平」
- 3 八幡平に生きる人
- 4 八幡平あっちこっち
- 5 ハチクラ通信（読者の声・プレゼント）
- 6 ビッキーと行く八幡平

問 4

「ハチクラ」へのご感想・ご意見をお書きください

今号の「ハチクラ」はいかがでしたか？

今後、充実した内容にするため、
皆さまの声をお聞かせください。

プレゼント

本ページのアンケートに回答して下さった方に
抽選でプレゼント！ ふるって応募してください。

1

ロジタンデム 宿泊券
（1泊素泊まり2名1室）



2 組様

2

ペンション&カフェ アーベント倶楽部
自家焙煎珈琲
「アーベントブレンド」
（200g）



2 名様

次号のハチクラ vol.28は
2020年12月25日発行予定

八幡平をもっと
楽しむためのフリーマガジン **ハチクラ**

2020.Vol.27 令和2年9月25日発行

企画・発行・問い合わせ先 八幡平市商工会
岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040
<https://www.shokokai.com/hachimantai/>

印刷所 川口印刷工業株式会社

■本誌に掲載している情報は、2020年9月10日現在の
ものです。発行後のデータ等が変更になっている場合
があります。あらかじめご了承ください。
■本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

プレゼント & アンケートの送り先

官製はがきに以下のことを記入し、ご応募ください。
FAXでも応募OK！

- ① ご希望のプレゼント（ご希望の店名をご記入下さい）
- ② アンケートの回答
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

■ 送り先

〒028-7111 岩手県八幡平市大更35-63-85
八幡平市商工会「ハチクラ」係
FAX 0195-76-2145

■ 応募締切

2020年11月20日（金）当日消印有効

当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
今回ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護
方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三
者に開示することはありません。

ビッキーと行く 八幡平

「見返り峠でおしごと」

撮影地／八幡平



撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

見返り峠で夕陽の撮影のおしごと同行したビッキー。
「こんなにきれいな夕陽が見られるなんてっ!」と大興奮!
大はしゃぎで三脚やカメラにぶら下がって楽しんでいまし
た。が、そんなに暴れられるとしごとにならないのよー。



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。
その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。
「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。

ハチマタ

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン 2020. Vol.27 令和2年9月25日発行 発行：八幡平市商工会

Take Free